

# アートラボ2026 第Ⅲ期 西村陽平 死者の書

2026年10月17日(土)～ 2027年1月17日(日)

長野県立美術館 本館2階 アートラボ

長野県立美術館本館2階の「アートラボ」は、視覚以外の感覚も使った鑑賞が可能な「ラボラトリー(実験室)」となることを目指しています。触れて、見て、感じて、アートラボで自分の感覚を再発見し、それをだれかと共有する鑑賞の楽しさに出会ってみませんか。



西村陽平《死者の書》2021年

## 身近なものを高温焼成した作品に触れる

第Ⅲ期では西村陽平の作品を紹介します。西村は、身近にあるものを高温で焼成することで、元の素材の形や手ざわりの違いを際立たせる作品を制作しつづけています。

今回の展示では、雑誌のページ1枚1枚に土を挟んで焼成した《死者の書》を中心に、空き缶やペットボトルを焼成した作品を紹介します。見るだけでなく、触れることで、よく見知ったものの、質感の違いや変化をお楽しみください。

展覧会名      アートラボ2026 第Ⅲ期 西村陽平 死者の書

会期            2026年10月17日(土)～ 2027年1月17日(日)

休館日        水曜日、年末年始(12/28～1/3)

会場           本館2階 アートラボ

開館時間      9:00～17:00

観覧料        無料

主催           長野県、長野県立美術館

※諸般の事情により、会期などに変更が生じる場合があります。最新情報については美術館ホームページをご覧ください。

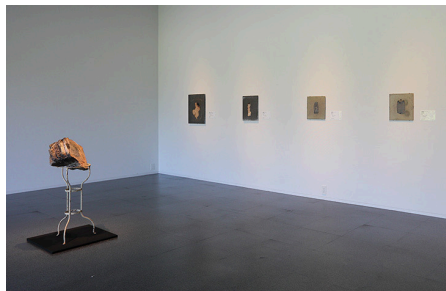
### ■ 報道関係のお問い合わせ

長野県立美術館 総務課 広報係 (※2026/4/1～ 担当課・係名が変更となりました。)

〒380-0801長野市箱清水1-4-4(善光寺東隣) HP:<https://nagano.art.museum>

TEL:026-232-0052 FAX:026-232-0050 E-mail:[nam-pr@naganobunka.or.jp](mailto:nam-pr@naganobunka.or.jp)

## 作家プロフィール



### 西村 陽平 にしむら ようへい

1947年京都府生まれ。美術作家、陶芸家。日本女子大学名誉教授。1973年東京教育大学(現在の筑波大学)卒業後、98年まで千葉盲学校で美術教諭として勤務。缶や金属、紙に土を塗り、それらを焼成させたシリーズなど、焼成のプロセスを通じて、素材の違いを際立たせる作品を発表。視覚や触覚・聴覚などの感覚をテーマにした自身の作品制作とともに、障がいのある方々や様々な人々の造形活動にも関わり、ワークショップを多数開催している。

## 主な展示作品



西村陽平《死者の書》2021年



西村陽平《缶コーヒー》2021年



西村陽平《ペットボトル2(タカラ本みりん)》2021年

| 作品名              | 制作年  | 技法・材質       |
|------------------|------|-------------|
| 死者の書             | 2021 | 土、紙、鉄       |
| ペットボトル1          | 2021 | ペットボトル、鉛    |
| ペットボトル2(タカラ本みりん) | 2021 | ペットボトル、鉛    |
| 缶コーヒー            | 2021 | アルミ缶、アルミ板   |
| 缶ビール             | 2021 | アルミ缶、アルミ板   |
| 十六茶              | 2020 | ペットボトル、アルミ板 |
| coca cola        | 2020 | ペットボトル、アルミ板 |